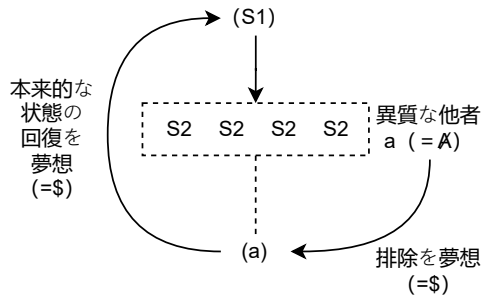


図11: エンジニアリングが持つダイナミズムからの疎外の結果2(不安と暴力)(2)



#11.6

人は上位のS1が衰退すると、
自身の理解を超えた行動パターンを取る
異質な他者の行動 (=a) が、
自身に危害を与えずに社会的に
統御されるとは信じられなくなり、
不安 (=A) になる。

from #11.1

#11.7

この不安において、異質な他者は
「社会が本来的な状態になることを妨害している者」
として理解されるようになり、
その理解から逆転して
「異質な他者を排除すれば
社会の本来的な状態を回復させることができる」
という幻想が生じる (=「レイシズム」)。

#11.8

この幻想は、
あたかも安寧な社会が実が可能であるかのように感じさせるものであるため、
父性隠喻の確立と同じ効果を主体にもたらずがゆえに、
主体に強い満足感を与えることができる。